



就活のこと



藤本智士 (Re:S)

はじめに

2010年夏。

とある美大の特別講義で、
ぼくは学生たちにこんな大喜利のお題を出題しました。

「就職決まってないのに勝ち組。なぜ？」

その目的は、
学生のみんなが振り回されまくっている
「就職活動」というものについて
いまいちど、自分の頭で考え直してみたいから。

学生たち自らが、
その場のアドリブでひねり出した答えは
たしかに「就職活動」というものへの、あたらしい考え方の種であふれていて
それをぼくがふんわり読み解いた
とても短いこのテキストを読み終えてもらったら
きっと、
就職について悶々としている学生たちが
なんだかつつぜんに清々しい顔をして
あたらしい一歩を踏み出してもらえるような気がするのです。

ということで、
早速、そのときの学生たちの回答を
見てみましょう～

藤本智士 (Re:S)

某巨大掲示板では英雄になれるから。

株主。

玉の輿結婚した。

有名人になった。

親が超金持ち。

宝くじが当たった（六億円）。

芥川賞を受賞。

家に温泉が湧いた。

その筋の関係。

瞳がきれい。

最後の「瞳が……」は、まあ、おいといて
なかなかいい答えですね。
せやけど、ふつうですね。ふつうの模範解答ですね。
最後は、まあ、おいといて……

結局、こういう答えは
はっきりいって大喜利の答えとしては、いい答えとはいえない。
ふつうやから。
最後の「瞳が……」は、まあ、正直好きですけど。

ここでそもそも、なぜ大喜利？ ってことですが、
ぼくは大喜利というのは日本人が誇る、実にすばらしい文化だと思っています。
そしてそんな大喜利は何より、
自分たちの発想のタガをはずしてくれるんです。
「こんなこと無理やろう……」
「そんなんありえへん……」
「こんなことしたら怒られる……」
そんな、ぼくたちの想像の自由を阻むものたちを
「おもしろかったらええ！」
という大喜利は全部ぶっ飛ばしてくれます。

そしてそこに、
自分たちがどこかで感じているはずなのに、妙な理性や常識で蓋をしてしまっていた
大切な答えやヒントがいてるんです。

もうね、これは、ぼくの企画術の原点やから、手の内明らかにしすぎて
急激に、いま、恐なってきました。
学生たちにこんな秘密教えてしもてる自分に。

まあ、それはいいとして
もう少し大喜利らしい答えを紹介しましょう。
もちろん、同じく学生たちの回答ですよ。

飼っている犬が可愛い。

趣味が楽しすぎる。

昼間っからビール。

いちいちやることがハジケている。

何とかなると“本気で”思っているから。

辞書から負け組という言葉消した。

日本に「20代は全員好きなように過ごす時代」が到来した。

大家族がいる。

毎日笑ってる。

全学生が勝ち組負け組とか言わない聡明な人間になった。

赤ちゃんだから。

はい、これ、だいぶ、おもしろなりましたね。

しかもおもしろいだけでなく
ええヒントで溢れてましたね。

これらの答えから感じられること。

っていうか、すでにわかっていることやと思うんですけど

それは、

そもそも「勝ち負けってなんじゃい！」ってことですね。

そして今回は

就活というテーマでのことですから、

就職活動における勝ち負けってことに対して

み～んな疑問もってるし、

就職決まった=勝ち 決まってない=負け

つつうのは、なんかあやしいぞ。

ってことは肌で感じてる。ってことです。

最初に紹介した答えがおもしろくないのは、

その

就職決まった=勝ち / 決まってない=負け を

金持ち=勝ち / 貧乏=負け とか

痩せている=勝ち（かっこいい） / 太っている=負け（かっこわるい） みたいな

別のフィールドの勝ち負けとすり替えているだけで

ひとつも勝ち負け論から脱しきれてないってことにあるわけです。

その例になぞってもう少し説明すると

例えば「相撲取り」という職業は痩せていたら駄目なわけで

その世界においては

痩せている=負け / 太っている=勝ち となる。

すなわち、ここで大事なものは世の中には、いろんな“ものさし”がある。

これを就活でいうなら、いろんな職業、いろんな働き方がある！ ということです。

うん、うん、だいぶ前進してきましたよ～。

さあていよいよですよ。

学生みんなの答えを参考に
いろいろぼくなり考えた結果を
あらためて言いますが
いまの就活と呼ばれるものの問題点はただ一つ。

「就職することがゴールになってる」ってこと。

「ドームを埋め尽くす5万人の観客を感動させたい！」
って夢見てるのに、
人気モデルのエレキギター買うための整理券ゲットして満足、
みたいな就職活動してること気づいてる？

「就職＝働くこと」その種類や多様性をほとんど知らないままに
狭い範囲の働き先に対して、学生みんながやっきになっているのは
端からみても、ちゃんちゃらおかしい。

立場上、いまの学生の動きを、他人事として冷静に見られるぼくは
就活に振り回されているみんなの姿が、

行列の先にいったい何があるのかわからんままに
とりあえず一応並んでみてる阿呆にみえます。

働き方は生き方。
人の人生が一つと同じじゃないように、働き方もみんな違って。
だからぼくは本当に言いたい。
言いたい！
言いたい！言いたい！

ねえねえ

学生みんなよ！

何をそんなに焦ることある？

就職活動って、就職することが目的じゃない。

働き方の種類を知るための活動。

せやから、バイトだろうが、正社員だろうが、

事務だろうが、営業だろうが、工場だろうが、

とにかく働いてみるのが大事。

親とか親戚とか、友達とか、誰がなんと言おうと、

なんでもええから働いてお金もろたらいい。

そんな気持ちで

ゆったり自分の人生眺めてみてほしい。

ぼくのようなおっさんも

そういう意味で現役就職活動中！

まだまだ働き方追求してます。

そして日々、ものすごい幸福。

ということで

ぼくなり的大喜利の答えを最後に……。

なんにしろ、

決まってしまうより、

決まってないほうが、

色々できるやん！

ほな、まあ、がんばって。

藤本智士 (Re:S。無責任なおっさん)